

# LEVORG ELECTRICO [VMG/VM4]

取付説明書

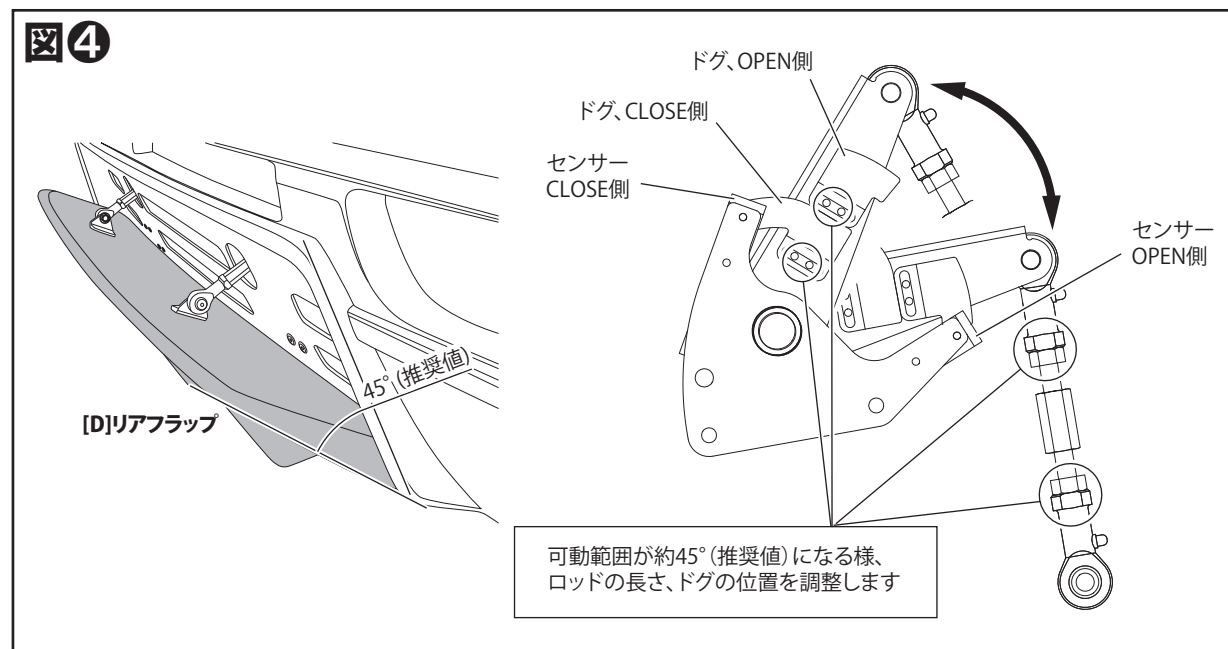
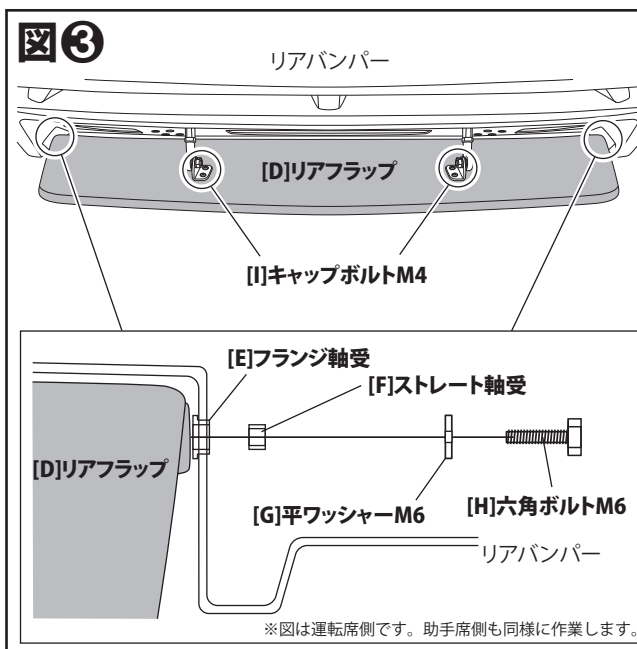
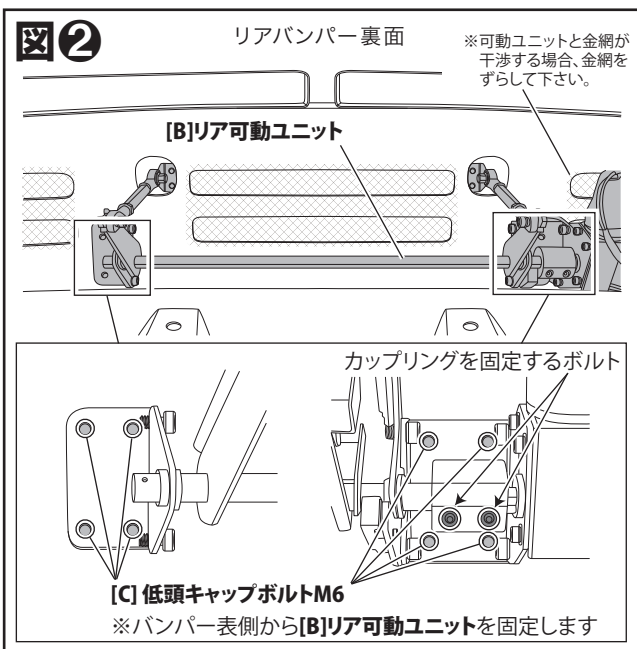
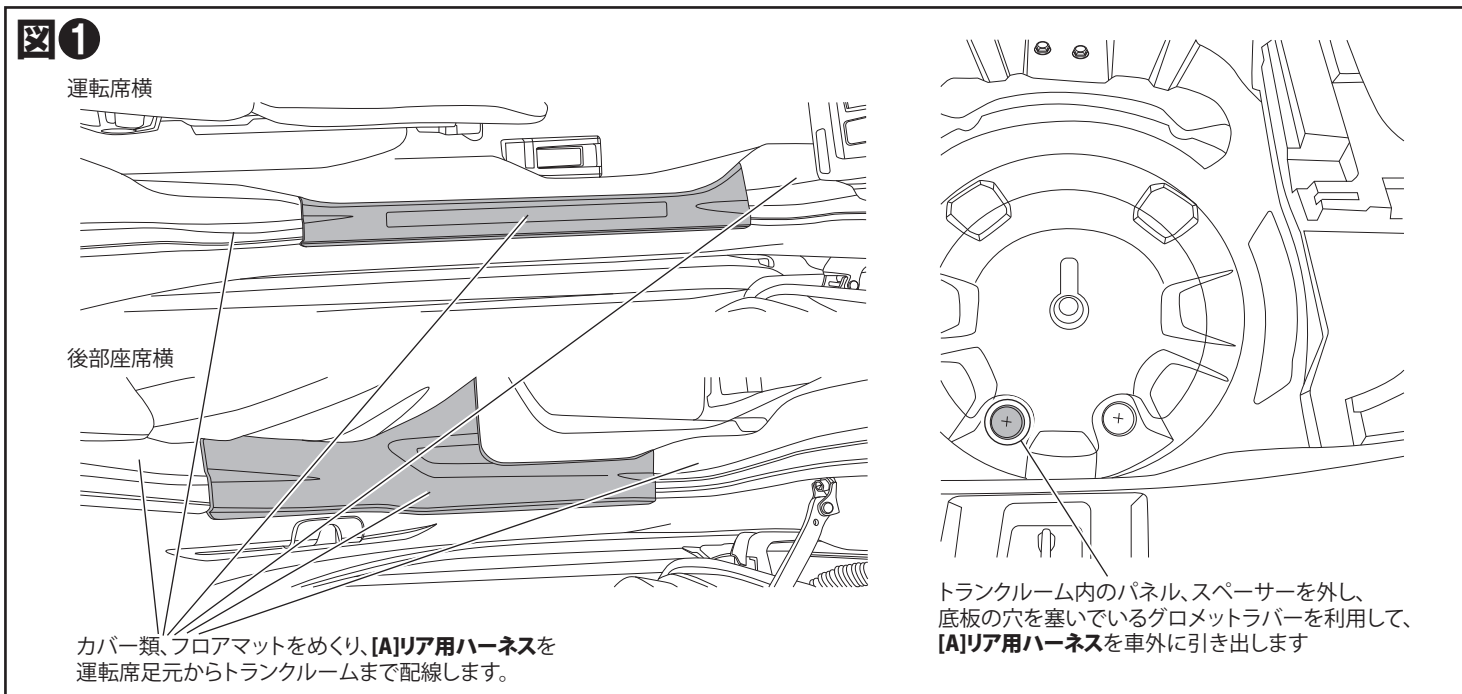
**DAMD**  
Styling Effect

## ACTIVE REAR FLAP

可動リアフラップ

作業手順 ■ 取り付け前に必ず別紙<注意事項>をお読み下さい。

- ① 車両からリアバンパーを取り外します。
- ② 図①を参考に、運転席側のフロアマットをめくり、[A]リア用ハーネスを配線します。
- ③ 図②を参考に、リアバンパー裏面に[B]リア可動ユニットを固定します。
- ④ "可動スポイラー制御ユニット"取付説明書に従い、[A]リア用ハーネスを制御ユニットと[B]リア可動ユニットのコネクターに接続します。
- ⑤ "可動スポイラー制御ユニット"取付説明書に従い、動作確認を行います。正しく作動した場合、手順⑥に進みます。作動不良の場合は、"可動スポイラー制御ユニット"取付説明書に従い各部の確認を行ってください。
- ⑥ 図②を参考に、[B]リア可動ユニットのカップリングを緩め、図③を参考に、[D]リアフラップを取付けます。
- ⑦ 車両がイグニッションONの状態[D]リアフラップを手で動かし、図④を参考に、指示の位置でセンサーが作動する様にロッドエンドの長さ、ドグの位置を調整します。  
※ドグを正しく感知すると、センサーが赤く点灯します。
- ⑧ 手順⑥で緩めたカプラーを本締めし、"手動モード"で動作させてエラーが出ないことを確認します。動作が鈍い場合や途中で止まる場合は、各部のボルト類を一旦緩め、再度調整しながら本締めしてください。
- ⑨ リアバンパーを元の位置に戻し、"手動モード"で動作に異常がない事、各部に干渉がない事を確認します。正しく作動し配線に問題が無いことが確認出来たら、電源ハーネスの余りを結束バンドでまとめて固定します。続いて、電源ハーネスの挟み込みに注意しながらフロアマットを元の位置に戻します。



構成部品	A	リア用ハーネス	1	G	平ワッシャー M6	2
	B	リア可動ユニット	1	H	六角ボルト M6	2
	C	低頭キャップボルト M6	8	I	キャップボルト M4	4
	D	リアフラップ	16	J	結束バンド	2
	E	フランジ軸受	2	-	-	-
	F	ストレート軸受	2	-	-	-

**DAMD Inc.**

株式会社 ダムド  
〒242-0001 神奈川県大和市下鶴間45-1  
TEL.046-271-5599 FAX.046-272-2266  
http://www.damd.co.jp

# LEVORG ELECTRICO [VMG/VM4]

取付説明書

**DAMD**  
Styling Effect

## ACTIVE SPOILER CONTROL UNIT

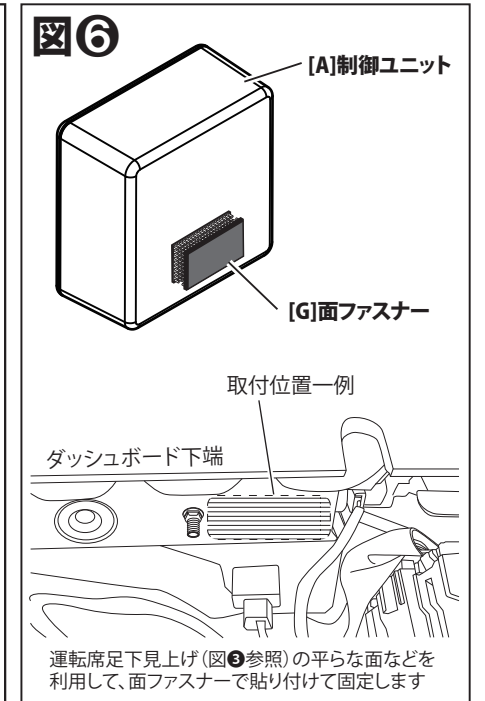
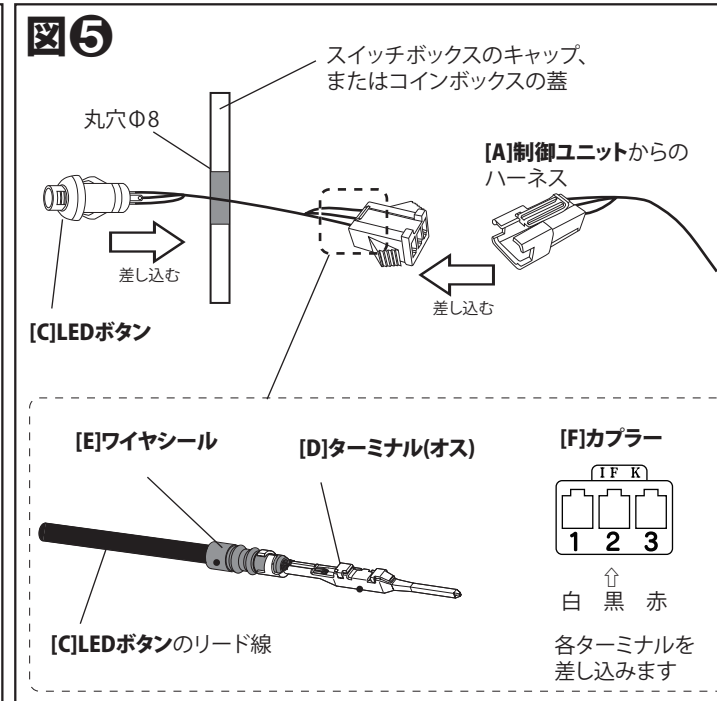
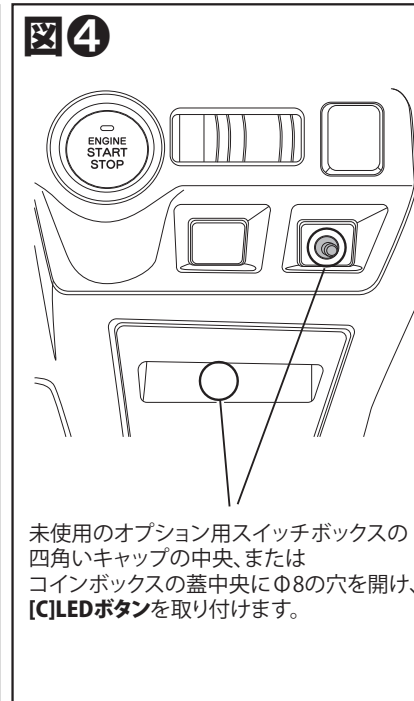
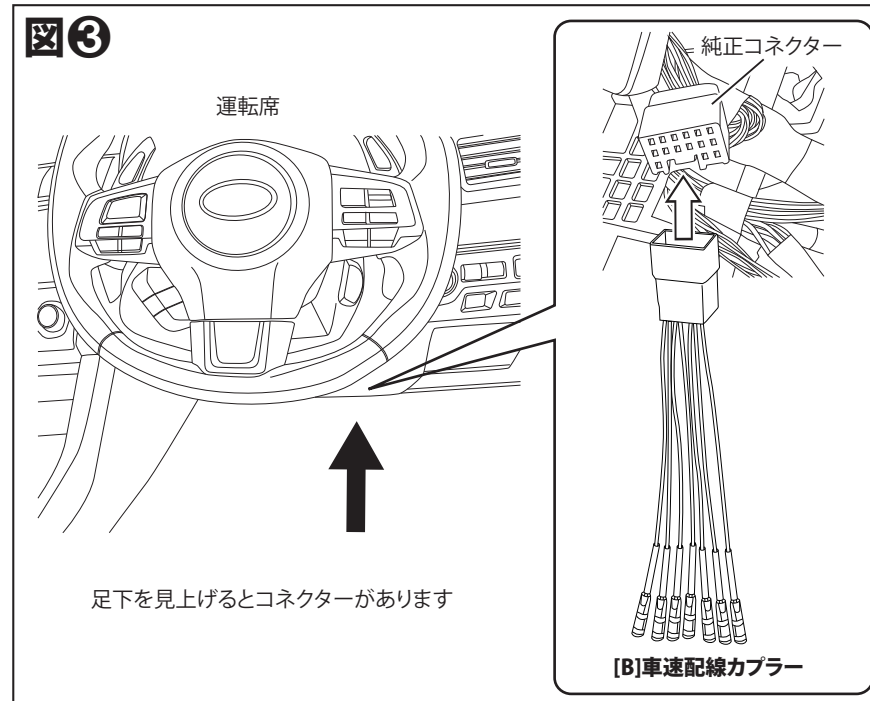
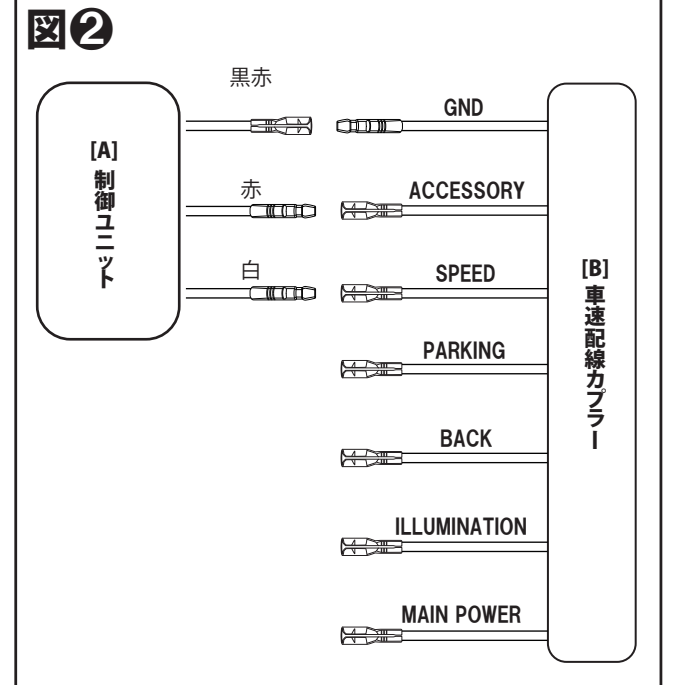
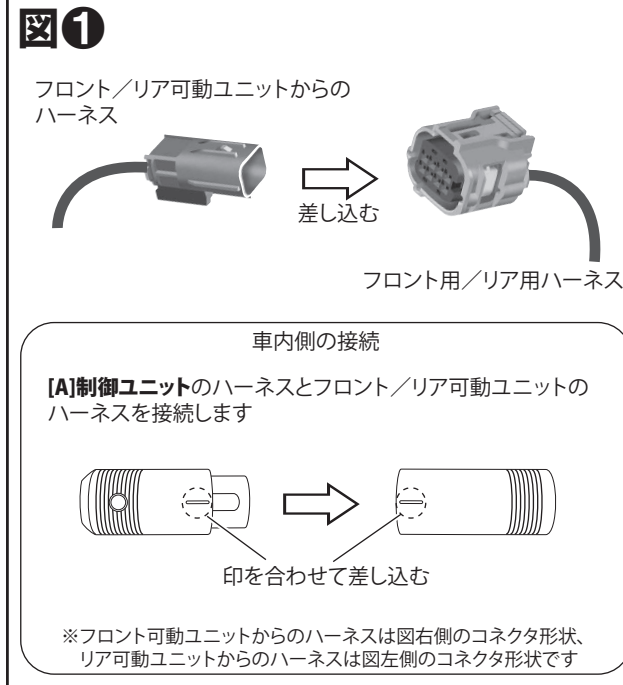
## 可動スポイラー制御ユニット

作業手順 ■ 取り付け前に必ず別紙<注意事項>をお読み下さい。  
※フロント可動ユニットとリア可動ユニット両方を同時に取り付ける場合の説明となっておりますが、片方のみの場合も手順は同様となります。

- ① 図①を参考に、フロント可動ユニットとリア可動ユニットのハーネスを[A]制御ユニットに接続します。
- ② 図②を参考に、[A]制御ユニットの各ギボシを[B]車速配線カブラーに接続します。
- ③ 図③を参考に、運転席側足下のコネクタに[B]車速配線カブラーをはめ込みます。
- ④ 図④、⑤を参考に、[C]LEDボタンを固定し、リード線(白黒赤)それぞれに[D]ターミナル(オス)と[E]ワイヤシールを取り付けて[F]カブラーに差し込み、[A]制御ユニットへ接続します。
- ⑤ 図⑥を参考に、[G]面ファスナーを使って[A]制御ユニットを固定します。  
※[G]面ファスナー貼付け面はパーツクリーナー/シリコンオフ等にて入念に清掃及び脱脂を行なって下さい。

LEDボタン、可動ユニットのモーター及びセンサーの動作確認  
※車内での操作、確認と車外での確認を同時に行います。二人以上で作業を行って下さい

- ① フロント用ハーネスのみ接続し、エンジンを始動します。※リア用ハーネスから始めても問題ありません。
- ② [C]LEDボタンを短押しすると短いピーブ音(ピッ)が鳴り、モーターがOPEN側へ駆動します。車内では、[C]LEDボタンが点滅します。
- ③ フロントウィングが可動し、ドッグがOPEN側センサーの正面に重なるとセンサーが赤く点灯し、モーターが停止します。車内では、[C]LEDボタンが点滅から点灯へと変わります。  
※可動ユニットが作動し切ってもドッグがセンサー正面に届いていない場合、可動ユニットの取付説明書に従ってドッグの位置を調整して下さい。
- ④ 上記通り正常に作動している事を確認したら、[C]LEDボタンを再度短押しします。短いピーブ音(ピッ)がし、モーターはCLOSE側へ駆動、[C]LEDボタンは点滅します。ドッグがOPEN側センサー正面から外れるとセンサーは消灯します。
- ⑤ ドッグがCLOSE側センサーの正面に重なるとセンサーが赤く点灯し、モーターが停止します。車内では、[C]LEDボタンが点滅から消灯へと変わります。
- ⑥ 問題なく作動した場合一旦エンジンを停止し、リア用ハーネスを接続して、同様の手順で動作確認を行います。
- ⑦ 上記通りに[C]LEDボタンやセンサーが点灯、点滅、消灯しない、モーターが駆動しない、長いピーブ音が鳴るなどの場合、何らかの不具合が考えられます。配線の見直し、テスターによる各配線の通電確認などを行ってください。



構成部品	A	制御ユニット	1	E	ワイヤシール	2
	B	車速配線カブラー	1	F	カブラーハウス	1
	C	LEDボタン	1	G	面ファスナー	1
	D	ターミナル(オス)	2	-	-	-

**DAMD Inc.**

株式会社 ダムド  
〒242-0001 神奈川県大和市下鶴間45-1  
TEL.046-271-5599 FAX.046-272-2266  
http://www.damd.co.jp